

## 放射性物質の自主検査・対象品目の拡大について

当社は、お客様に安心して食品をお買い求めいただくため、2012年1月より、生鮮食品の放射性物質自主検査体制を強化し、その結果を公開してまいりました。

このたび、お客様により安心して食品をお買い求めいただくため、自主検査体制を見直し、検査対象品目を拡大いたしますのでお知らせいたします。

### 1. 新たに検査を実施する商品

#### ①青果

従来から実施している当社の契約産地の商品に加え、東日本1都16県（注1）産の摂取量の多い品目（注2）を追加します。

（注1） 福島県、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、青森県、岩手県、秋田県、山形県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県

（注2） 大根・キャベツ・はくさい・たまねぎ・きゅうり等の淡色野菜、にんじん・ほうれん草・トマト等の緑黄色野菜、じゃがいも・さつまいも等のいも類、柑橘類・りんご等の果物類、きのこ類、など

#### ②一般食品

当社の自主企画の豆腐、納豆、牛乳を対象に、サンプル検査を実施します。また、摂取量の多い米、卵、茶については、従来より取引先で検査を実施したものを仕入れております。

なお、鮮魚については従来通り、千葉～北海道太平洋沖の回遊性魚種、及び千葉、茨城、宮城、岩手、青森、北海道の沿岸性魚種についての自主検査を継続します。また、精肉については従来通り、秋田、岩手、山形、宮城産の国産豚肉、及び青森、岩手産の国産鶏肉についての自主検査を継続します。

### 2. 検査結果をふまえた対応について

検査の結果、放射性セシウムが1kg当たり50ベクレルを超えて検出された場合は、50ベクレルを下回ることが確認されるまで当該産地・漁場の商品及び当該商品の販売を見合わせます。ただし牛乳のみ、1kg当たり10ベクレルを超えて検出された場合は、当該商品の販売を見合わせます。

当社は、お客様によりご安心していただける商品を提供できるよう、品質管理のさらなる強化と適切な情報開示に努めてまいります。

《当資料に関するお問い合わせ先》

○お客様窓口：お客様相談（フリーダイヤル） TEL. 0120-371315（通話料無料 9:00～18:00）

